

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

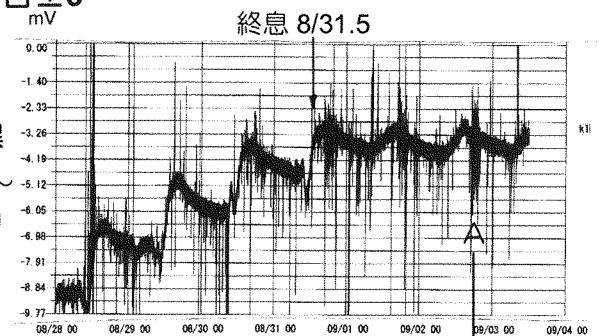
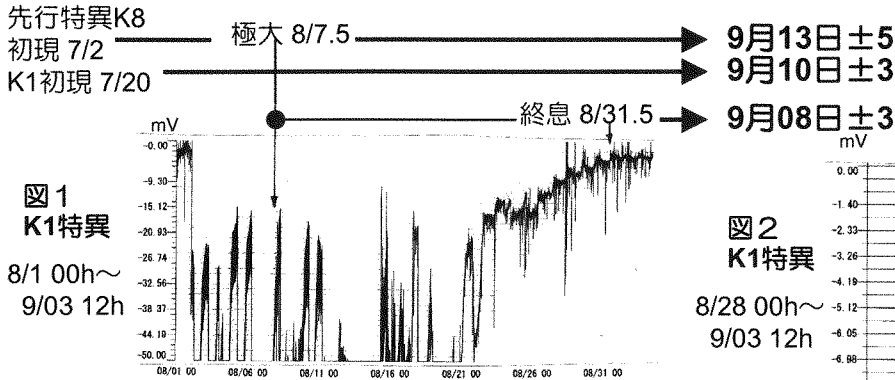
続報 No.310

2021.09/03 (金曜) 16:00 発表

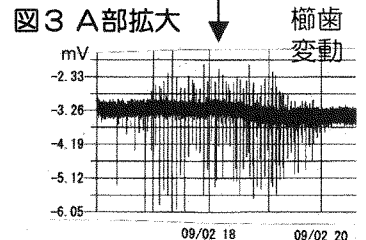
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

最大誤差 9月10日±2日期間内

No.1778続報 K1 特異変動終息の可能性 9月8日 (or 11日) 発生の可能性



前号では9/9±1発生の可能性が示唆されていました。高知観測点 K1特異の終息が重要で、変化を観ていました。図2のK1基線を参照下さい。8/31日以降基線電圧値が安定して変化しています。基線から上下に変動が見られますが、図2のAの変動を時間軸を拡大して示した基線が図3です。これを見ますと、基線から上下の変動は特異変動ではなく、楕歯変動（地殻地震特有前兆）です。K1の変化で重要なのは特異変動の終息です。8/31.5以降は現在9/3日段階でも特異変動は認められず、日々の日周変化が基線に見られるだけであることから、8/31.5に高知観測点のK1特異は終息した可能性が認識されます。初現が若干不確定であるため、極大～終息を重視したいと考えます。この場合、極大8/7.5～終息8/31.5 認識で Tmap:Tpp=3.9:1 経験則から9月8日発生の可能性が計算されます。



八ヶ岳のCH29は9/8±3と9/11±3の可能性が示唆されます（日々配信の観測情報では詳しく報告済）。K1のA部は9/2.8です。仮に9/2.8終息の場合は9/11±発生となります。一応考え易い9月8日 (or 11日) 発生の可能性とし、誤差としては9月10日±2日 (9/8～9/12) 期間としたいと考えます。

発生推定時刻は基線幅増大BTの日々変化時刻を使用していますが、多数のBTからは午前9時±2または午後6時±2が計測できます。7月下旬に出現したCH34を重視した場合は（）で示してあります。仮に推定どおり発生した場合でも被害が少ないことを祈ります。26年間の観測の中で13年もの長期間、前兆変動が継続したものはありません。25段階ものステージ変化も初めてで、本当に推定通り地震発生となるのか分かりません。わからないなりに過去経験則を使用して解析して参りました。実際の活動が推定内容と大きく異なる場合は平に陳謝申し上げます。今後、現推定を修正する必要がある変動が観測された場合は続報させていただきます。

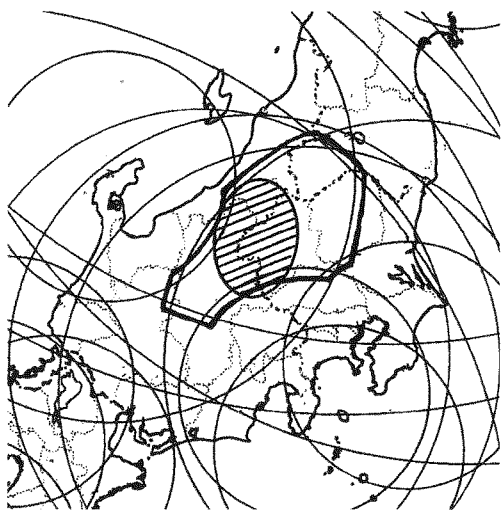


図4 推定領域図

- ◆推定領域：図4太線内領域内・斜線域参考推定領域
斜線参考域＝浅間山・白根山等火山近傍領域
- ◆推定規模：M8.0±0.3
(近傍火山活動活発化の可能性も有るが不明)
- ◆推定時期：9月8日 (or 11日) 最大誤差9月10日±2日期間内
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：複数BT=AM 9:00±2 (CH34BT重視= AM 7:00±3)
または
複数BT=PM 6:00±2 (CH34BT重視= PM 6:30±2)